

「土砂さいがいについて」

上野村立上野小学校 四年 浅川 祐樹

ぼくが住んでいる上野村は、山が深く緑も多い場所ですが、台風や大雨がふった時、川がぞう水し、山やけがくずれることがあります。何年か前に台風十九号が来たときはぼくの家近くの川がぞう水し、きけんだったため、家族と高い場所にひなんしました。その時もと中の道が大きながけくずれを起こしておばさんの家の物おきをこわしてしまいとでもこわかったです。幸いおばさんの自宅は土砂にまきこまれずにすみ無事だったので良かったです。テレビでは、何度かそういう場面をえいぞうで見たことがあります。すが、実さいその場所で見ると本当にこわいと思いました。静岡県熱海市で起きた土砂さいがいでも多くの人々が、土砂にまきこまれ亡くなりました。もう少し早くひなんしていれば、助かったかもしれないので、やっぱり早めにひなんすることは大事なんだなと思いました。ぼくもしきけんなじょうきようだったら、近所の人たちに「早くにげよう」と声をかけ、ひなんするよう心がけたいと思います。土砂さいがいが起こる前には、山から小石がパラパラと落ちてきたりわき水が出てきたりすると聞きました。

土砂さいがいはいくつか種類があります。すべりやすい土のゆるやかなしや面で広いはんにわたり、地面が動く「地すべり」や急なしや面がとつぜんくずれ落ちる「がけくずれ」つゆの長雨や台風の大雨などで水と一しよに土や石が一気に流れ出る「土石流」などです。静岡県熱海市のひがいは、土石流だったと聞きました。

他にも土砂さいがいは命のき機に関することもあります。上野小学校の体育館に水が入るというひがいがありました。ドッグランのがけがくずれ落ちるというひがいもありました。店のちゆう車場の所に水がのぼり大変なことも起きたことがあります。そのときはとてもこわかったです。じゆうたんにもひがいがありました。がけがくずれる、水がのぼる道がこわれる、というさまざまなひがいが二年前台風十九号がありました。なので日ごろから、ハザードマップをチェックしたり、ぼうさいグッズの用意や、ラジオで、じようほうを聞いたりたいと思いました。

ぼくは土砂さいがいについてよく分かりませんでした。おとうさんとおかあさんと、いっしよにさぼうえんていとちさんえんていをじっさいに見に行つて来ました。さぼうえんていはものすごく大きくごうおんを立てて水を流していました。土砂が、えんていの後ろにいったまっています。これで土砂を受け止めているんだと思います。次にちさんえんていを見に行つて来ました。小さいえんていが二だんになっていました。岩や石が沢の真ん中にたまっていて、さぼうえんていと同じように受け止めていました。さぼうえんていや、ちさんえんていは安心をあたえてくれるしせつなんだなと思いました。

このように土砂さいがいはどんなのかを知った上であぶない時には声をかける、ひなんするということをしていきたいです。